

善養寺便り

第二十五号

令和二年 お盆号

発行 善養寺

門信徒の皆様

暑中お見舞い申し上げます。

皆様、いかががお過ごしでしょうか？コロナコロナで今年は七ヶ月があっという間に過ぎ去った感があります。長かった七月の梅雨もようやく明け、今年も暑い暑い夏がやってきました。

コロナに熱中症、台風等々。いつまでも播州も安全の保障は当然ありません。そして、ウィルスとの戦いは、まだまだ続くのでしよう。

さて、このような時節ですが、お寺はもちろんのこと、真宗の門信徒である皆様にも、コロナに負けぬよう、法灯継承、念仏相続を切にお願いしたいと思います。もうじきお盆を迎えます。お盆に、ご家庭の仏壇や、お墓参りをすることは、念仏相続の絶好の機会です。



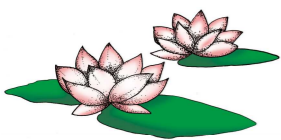
本堂でのソーシャルディスタンスは難しいですが、皆さん全員マスクを着用された上、大声でしゃべったりすることはあまりありませんので、本堂の法座でのリスクはそれほど高くはないと思います。どうでしょうか。

ご講師は、山口県熊毛郡の祝島という瀬戸内の島のお寺の住職である石山泰人師にお越しいただきました。

師の、山口弁？による、様々な優しい念仏者の話もまじえながらのご法話を、皆様熱心にお聴聞していらっしやいました。

永代経法要は、当該年に五十回忌から一周忌をお迎えになる当山門信徒の方々の「法名」を御本尊前に張り出し、亡き人を偲び、お念仏の教えにまみえる、とても大切な法要です。

今年五十回忌をお迎えなさる方は、昭和四十六年にお亡くなりになられた方々です。出来れば、各ご家庭においても、五十回忌までの法事をお勤めしていただきたいものです。



お念仏と共に、慎重にそして明るく頑張ってくださいませよう。

〈活動報告など〉

◆令和二年永代経法要

六月二十二日(月)二十三日(火)の二日間、延期して行いました今年の「永代経法要」を勤めました。二日間とも好天で盛会のうちにご満座を迎えることが出来ました。

今回の法要では、当然ながら、感染防止対策をしました。

参拝者のマスク着用(予備マスクの準備)

除菌アルコール液によるこまめな除菌

次亜塩素酸水噴霧器の設置

本堂の戸や窓の開放による換気

少人数による手袋を用いての接待

手作りお斎の中止 など

坊守は、本堂や座敷のあらゆるところを、法要の当日まで何度もアルコールで除菌をしておりました。



お勤めでは、過去帳記載の年忌該当の方の法名を詠み上げました



次亜塩素酸噴霧器
演台にはアクリル板設置

◆仏教婦人会令和二年度 第一回仏教講演会

仏教婦人会の講演会も、六月七日に総会と、第一回仏教講演会を実施するはずでしたが、こちら中止しました。ご講師には、オーボエ演奏とお説教をされる女性布教使の先生にお願いしていました。来年もお願いいたしますので、楽しみにしておいてください。

そして、七月十三日に、恒例の谷川弘顕師をお迎えし、第一回仏教講演会を開きました。

この日も雨にもかかわらず多くの方がお聴聞にお越しなり、誠に有り難いことでありました

谷川師のお話しは、お念仏のよろこびが中心です。なぜ、念仏を称えるのか、お念仏とは何か。そんな話を、日常の具体的なエピソードをまじえてお話しくださいます。次回は十二月十四日です。



◆令和二年度の行事

新型コロナウイルスの感染はまだまだ収まりそうもありません。

今後の予定も、その時の状況により、どうなるか全く予測がつかないですね。

とりあえず、今年度の予定を再度ご案内します。

※中止

九月二十五日「第五回おてらくご」中止

※来年は実施予定

※実施予定

八月十三日(木)午後六時半より

墓苑にて「盂蘭盆、万灯会」

十五日(土)午前十時より

本堂にて「盂蘭盆会」

十一月一日(日)二日(月)

「報恩講法要」

十二月十四日(月)

「第二回仏教講演会」

令和三年一月一日「元旦会」

◆令和二年度仏教婦人会役員

三月三日(水)

「第三回仏教講演会」

★毎月第二金曜

夜七時半～八時半

「お寺ヨガ」大好評実施中!

八月は二十一日(金)です。



善養寺ホームページも

ご覧ください

姫路 善養寺
で検索



◆「真宗文化研究会」二十五周年

「聲明と雅楽の調べ」

令和三年三月三十一日(水)

姫路市文化センター大ホール

延期していましたが当催しは、この日程で実施予定ですが、実施できても、入場数を制限する可能性があります。詳細は後日連絡します。
